

○令和3年度建築BIM推進会議は、令和2年度同様、年2回程度の開催を予定。

○各部会（部会1～5）及び関係団体では、本日の議論を踏まえ、引き続き検討を進める。

- ・建築BIM環境整備部会（部会1）では、引き続き様々な課題等について官民の試行プロジェクトによる検証を進めつつ、令和2年度の検証結果を基にガイドライン（第2版）への改定について議論予定。
- ・他の部会・関係団体等の公表等された成果物についても、ガイドライン（第2版）に適宜参照記載を盛り込む等、建築BIM推進会議として体系的に整理されたアウトプットを目指す。

○また、本日議論のあった「人材育成、中小事業者の活用促進」や「ビッグデータ化、インフラプラットフォームとの連携」については、モデル事業等で知見を得つつ、引き続き建築BIM推進会議にて現状の把握や今後の進め方等について議論したうえで、必要に応じて部会設置等も検討を行う。

（特に次回の建築BIM推進会議では、各団体のBIM普及の取り組み等についてご発表をお願いしたい）

<参考 令和元年9月「建築BIMの将来像と工程表」>

| 将来像を実現するために 建築業界に必要な取組と官民の役割分担 | | 各取組を実現するために必要な検討事項 |
|-----------------------------------|---|---|
| 1. | BIMを活用した建築生産・維持管理に係るワークフローの整備 <small>〔国土交通省＋関係団体〕</small> | BIM標準ガイドライン(ワークフロー)、BIM実行計画書の標準策定(BEP)、BIM発注者情報要件の標準策定(EIR)、竣工モデル定義、部品メーカーとのかかわり方の整理、BIMを活用した場合の契約、業務報酬のあり方、著作権 |
| 2. | BIMモデルの形状と属性情報の標準化 <small>〔BIMライブラリ技術研究組合＋関係団体〕</small> | オブジェクト標準、属性情報の標準化、オブジェクトライブラリ、メーカーオブジェクト、ライブラリと仕様情報の連携 |
| 3. | BIMを活用した建築確認検査の実施 <small>〔建築確認におけるBIM活用推進協議会＋関係団体〕</small> | BIM2D審査、ビューワー、BIM審査、BIM検査、AI審査・検査 |
| 4. | BIMによる積算の標準化 <small>〔(公社)日本建築積算協会＋関係団体〕</small> | 分類体系の整備、積算手法の標準化、コストマネジメント手法の確立 |
| 5. | BIMの情報共有基盤の整備 <small>〔(一社)buildingSMART Japan＋関係団体〕</small> | 国際標準・基準への理解促進、データ連携手法の確立、情報共有環境の整備、データ真正性確保技術の確立、デジタル証明技術の確立 |
| 6. | 人材育成、中小事業者の活用促進 <small>〔(一社)buildingSMART Japan＋関係団体〕</small> | BIMマネージャー(仮称)、BIM技術者資格、BIM講習・研修 |
| 7. | ビッグデータ化、インフラプラットフォームとの連携 <small>〔国土技術政策総合研究所・建築研究所＋関係団体〕</small> | ビッグデータとしてのBIMの活用、インフラプラットフォームとの連携 |

○【部会1、関係団体】
ガイドライン（第2版）
改訂について議論

○【部会2～5、関係団体】
部会・関係団体間で
連携しつつ、各課題への
検討を進める

○モデル事業等を行いつつ
建築BIM推進会議で
現状把握・進め方を議論
(必要に応じて部会設置)

